

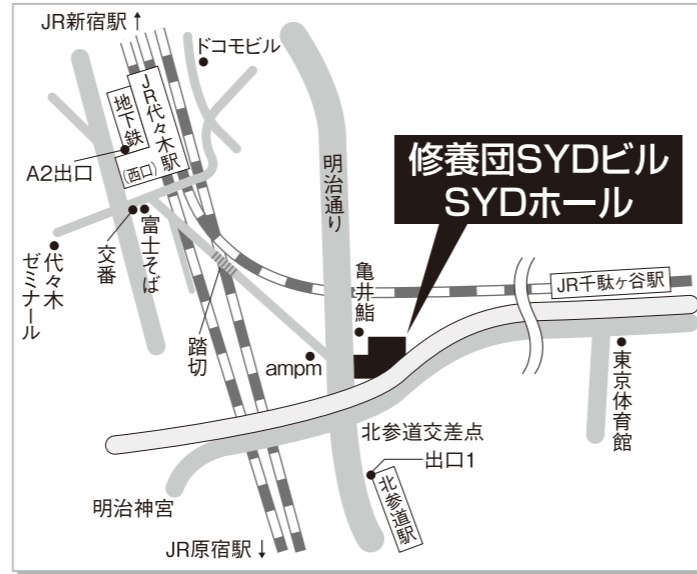
会場案内

会場 SYDビル SYDホール

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2
TEL 03-3405-5555

- JR山手線・総武線「代々木駅」西口より徒歩5分
- 都営地下鉄大江戸線「代々木駅」A2出口より徒歩6分
- 東京メトロ副都心線「北参道駅」出口1より徒歩3分
- JR総武線「千駄ヶ谷駅」より徒歩7分

※ホールには駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
車でお越しになる場合は首都高速高架下の時間貸有料駐車場(千駄ヶ谷パーキング)をご利用ください。



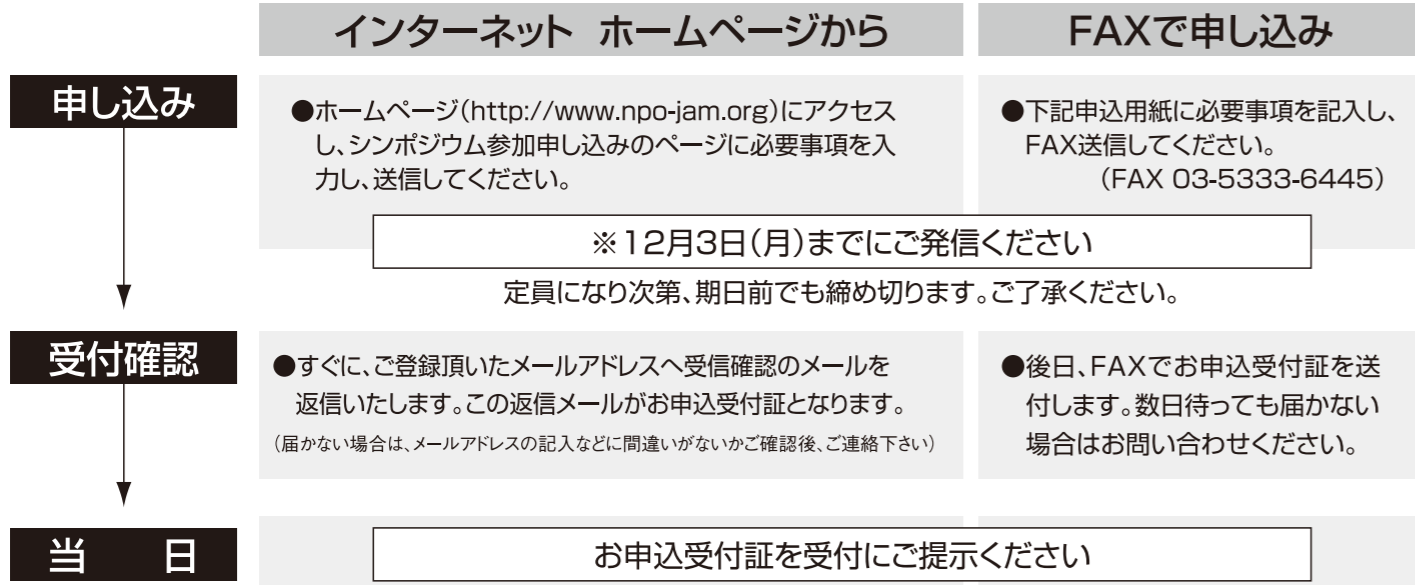
お問い合わせ・参加申込先

NPO法人 メンタルケア協議会 事務局

〒151-0053 渋谷区代々木1-57-4 ドルミ第2代々木 2F
TEL03-5333-6446 FAX03-5333-6445 net@npo-jam.org http://www.npo-jam.org

参加申込方法

事前登録 可能であればインターネットでお申し込み下さい。



当日受付 事前受付登録者が優先となります。
参加人数によって、ご入場・ご着席できない場合があります。ご了承ください。

FAX申し込み用紙 [FAX 03-5333-6445] ※申し込みはお一人様ずつお願いいたします。 FAX送信方向 ↑

ふりがな 氏名	勤務先名
	職種
住所 〒 <input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> 自宅	TEL
	FAX
	e-mail
メンタルケア協議会 …… <input type="checkbox"/> 会員 ・ <input type="checkbox"/> 非会員	
メンタルケア協議会シンポジウムに参加するのは …… <input type="checkbox"/> 初めて ・ 回目	

NPOメンタルケア協議会 第19回シンポジウム

SNS相談してくる 子どもたちのことを考える

2018年 **12**月**9**日(日) 12:00~16:00

会場: SYDホール (東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2)
参加費: 会 員…無料 非会員…3,000円
交流会: 16:30~18:00 参加費〔一律〕1,000円

NPOメンタルケア協議会 第19回シンポジウム

SNS相談してくる 子どもたちのことを考える



自殺対策や、いじめなどの深刻な悩みに気付くとっかかりを作るための相談窓口として、
全国でSNS相談の試行が始まりました。
これまでの電話相談では手が届きにくかった10代を中心とした若い世代が多くアクセスしてきます。

SNSで友達と繋がり、SNSで相談窓口に相談してくる子どもや若者は、
どんな心の風景を持っているのでしょうか？
SNSを使う子どもたちは「リアルとバーチャルが融合した世界に住んでいる」と言われています。
それはどういうことなのでしょう？

子どもたちに、異なる立場で関わっておられるシンポジストをお招きしました。
子どもたちをどう支援したら良いのか、それぞれのお立場のお話をうかがい、質問をぶつけ、
侃々諤々、論じてみたいと思います。

メンタルケア協議会は本年3月に13日間、東京都からの委託を受けて
「相談ほっとLINE@東京」の試行を行いました。
9月10日からは、同事業を通年事業とし、第2段階の試行を行っています。

今回のシンポジウムはLINE相談をいっそう充実させるための勉強会も兼ねています。

■ プログラム

12:00～12:10 開会挨拶 羽藤 邦利 メンタルケア協議会理事長・代々木の森診療所理事長

第1部 LINEを使う子どもたちの姿

座長 メンタルケア協議会理事 荒井澄子・西村由紀

12:10～12:55 基調講演
「つながり過剰症候群 ～その社会背景と心理を考える～」
土井 隆義 筑波大学人文社会系教授

12:55～14:25 パネル発表
東京都のLINE相談の実績報告、LINE相談を受けて見えてきたこと
西村 由紀 メンタルケア協議会理事

「子どもの生活と学びに関する親子パネル調査2017」(ベネッセ教育総合研究所と東大社研との共同調査)
から見えてきたこと
橋本 尚美 ベネッセ教育総合研究所 主任研究員

「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」から
見えること、これからの教育改革のことなど
鈴木 寛 東京大学教授兼慶應義塾大学教授

《休憩15分間》

第2部 総合討論、子どもたちをどう支援すれば良いか

14:40～15:50 パネルディスカッション
パネラー 第1部発表者4名
指定発言 日本いのちの電話連盟チャット相談関係者
SNS相談の試行を実施した自治体より

15:50～16:00 閉会挨拶 大下 隆司 メンタルケア協議会副理事長

■ 講師・パネラー プロフィール

土井 隆義 とい・たかよし (筑波大学人文社会系教授)

筑波大学大学院人文社会科学部研究科教授 社会学専攻(社会病理学・逸脱行動論・犯罪社会学)。
1960年山口県生まれ。今日の若者たちが抱えている生きつらさの内実と、その社会的な背景について、青少年犯罪などの病理現象を糸口に、人間関係論の観点から考察を進めている。【著書】『少年犯罪<減少>のパラドクス』(岩波書店)、『人間失格?』(日本図書センター)、『キャラ化する／される子どもたち』(岩波ブックレット)、『友だち地獄』(ちくま新書)、『「個性」を煽(あお)られる子どもたち』(岩波ブックレット)、『(非行少年)の消滅』(信山社出版)など。

西村 由紀 にしむら・ゆき (メンタルケア協議会理事／精神保健福祉士)

メンタルケア協議会の法人設立を手伝い、東京都精神科救急医療情報センター、東京夜間こころの電話相談、東京都自殺相談ダイヤル、東京都自殺未遂者対応地域連携支援事業の立ち上げと運営に携わる。

橋本 尚美 はしもと・なおみ (ベネッセ教育総合研究所 主任研究員)

初等中等領域の子ども・保護者・教員を対象にした意識・実態に関する調査研究に携わる。現在は東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所共同研究「子どもの生活と学び」研究プロジェクト(小学1年生から高校3年生の親子の成長・発達を毎年追跡する親子パネル調査)に取り組んでいる。

鈴木 寛 すずき・かん (東京大学教授兼慶應義塾大学教授)

東京大学教授、慶應義塾大学教授 文部科学大臣補佐官、日本サッカー協会理事、社会創発塾塾長、元文部科学副大臣。
1964年兵庫県生まれ。1986年東京大学法学部卒業。通商産業省入省。1997年中央大学総合政策学部兼任講師。1997年通産省情報処理振興課総括課長補佐。NPO法案成立に日本青年会議所のアドバイザーとしてかかわる。1998年通産省電子政策課総括課長補佐。1999年慶應義塾大学SFC環境情報学部助教授。2000年平尾誠二(ラグビー)とNPO法人創立。早稲田大学IT教育研究所客員研究員。灘中・高等学校情報科教諭。